

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 17 年 12 月 27 日	
		作成部署	土木建築部道路総括室	
事業名	一般国道163号 北大河原バイパス	構想番号	(土・道計) 構-17-3	
		地区名	南山城村北大河原地内	
概算事業費	80億円	事業期間	8年	
事業概要	L=3.2Km (うちトンネルL=1.4Km), W=6.5m (8.0m)			
関連する公共事業	無し			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・建設予定地周辺は、豊かな自然が残る地域であり、大規模な土地の改変を極力抑制し、地域環境の消失や負荷を避ける必要がある。	・大規模な自然の改変や斜面の切り土による地域環境への影響を避けるため、全長のうち約4割をトンネル構造とし、植生の消失や動物の移動経路の分断、地形改変などによる地域生態系への影響を抑える。	△
	生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・現道は、一日約11千台が通過する幹線道路で、大型車の比率が高いため、排気ガスや騒音・振動が周辺住民への生活に影響を及ぼしていることから、現道沿線の住民の生活環境改善を目標とする。	・現道からバイパスへの転移により、集落部において、排気ガス、騒音・振動の影響を減少させ環境改善を図る。 ・線形改良と拡幅により、交通を円滑化し、周辺地域における排気ガス排出量の総量を削減する
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・建設予定地の周辺は、山と川に挟まれた、自然豊かな地域であるため、土地の大幅な改変による景観への影響を極力避ける必要がある。	・計画路線は、南山城村中心部、木津川対岸の集落などからの眺望内にあることから、トンネル工法を採用することにより、建設に伴う大規模な森林伐採と切土を避け、現状の自然景観を極力維持する。	△
地域の環境像	施工予定地周辺は、緑に囲まれた山村地域であり、豊かな自然環境と景観を有しており、事業に際してはそれらへの影響を調査、配慮して進めることが必要。大型車の多い現道交通が村の中心部を通過していることにより、生活環境へ大きな影響を及ぼしているため、バイパス整備により現道から通過交通を分離し、生活環境改善を目指す。			
特記事項	なし			